

令和8年
1月号

食育だより

綾中学校 給食室

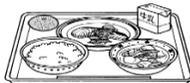
明けまして おめでとうございます。
新年を迎え、いよいよ3学期がスタートしました。それぞれの目標に向かって頑張ってもらいたいと思います。
3年生にとっては、中学校生活も残すところ三ヶ月足らずとなりました。みなさんが、元気に学校生活が過ごせますように、心から願っております。

全国学校給食週間です！ 1月24日～30日

給食感謝週間は、学校給食の意義や役割について理解を深める週間でもあります。食べ残しもあるので、毎日の給食についても、SDGsへの取り組みを、みんなでしっかりと考えて見ましょう！



全国学校給食週間の始まり



明治 22年に始まった給食は、戦争中に一時中断しましたが、ララ(米国の民間団体)などからの援助物資を受けて昭和21年12月24日に東京、神奈川、千葉で再開されました。この日を記念して『学校給食感謝の日』と定められていました。その後、冬休みに重ならない1月24日から30日を「全国学校給食週間」とし、給食の意義や役割について、理解や関心を深める週間となりました。

★綾中の給食感謝週間は(1/19～1/23)です。



学校給食の役割とは

栄養補給の役割のほかに、食品を選択する能力、食事のマナー、感謝の心、地域の食材や郷土食などについて学ぶ教材としての役割もあります。



学校給食の歴史

明治
20
年代

おにぎり・焼き魚・つけもの
山形県鶴岡町の忠愛小学校で、弁当を持ってくることができない子どもたちのために、昼食を提供したのが学校給食の始まりです。



昭和
30
年代

コッペパン・脱脂粉乳・カレーシチュー
給食が栄養改善だけではなく、教育の一環としても考えられるようになりました。



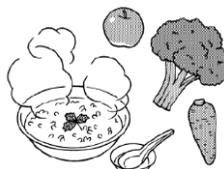
昭和
50
年代

パン給食だけではなく、ごはん給食も始まりました。



現在

行事食や郷土料理、世界の料理などが取り入れられるようになりました。



資料提供 [宮崎市学校教育研究会
栄養教諭・学校栄養職員部会]